

国際森林年
記念

リレー植樹

都市に森を!



植樹する末松林政部長

国際森林年行事の一環として、移植ごてをバトンに見立て、全国十数地域をリレーする植樹行事が行われています。そのうちのひとつ、「いのちの森植樹」(豊島区・毎日新聞社等主催、林野庁等後援)が5月22日(日)、東京豊島区の南長崎原っぱ公園で開催されました。当日は、親子連れなど約800人が参加し、5月9日(月)、横浜市新羽中

学校での植樹祭からつながれた移植ごてを使って、タブ、ヤマザクラ等、約40種類3,750本が植栽されました。

植樹に先立ち行われた式典では、東日本大震災で失われた尊い命に黙とうを捧げた後、主催者、来賓等があいさつ。式典の最後に国際森林年子ども大使18名が、森が元気になれば地球も元気になると、声をそろえて「アピール宣言」を行い、賛同する多くの拍手が送られました。また、会場内では、林野庁、豊島区等により、それぞれの活動をわかりやすく説明したパネルの展示等が行われました。

このリレー植樹は、6月に北海道小樽市で開催される行事につながれます。



2011・国際森林年



植樹する国際森林年子ども大使



国際森林年の趣旨等をパネルで展示



元気にアピール宣言

